

四 国

四国の景況は、個人消費、設備投資が持ち直すなど、回復。

個人消費は、衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、ドラッグストア販売やホームセンター販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、持家が減少したものの、貸家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、県、市町村が増加するなど、足許増加。輸出は、粗鋼物が減少したものの、輸送用機器が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。

生産活動は、パルプ・紙・紙加工品、鉄鋼が減少したものの、化学、電気機械が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。観光は、温泉地の宿泊客が減少したものの、観光地の入込客が増加するなど、概ね横這い。雇用は、サービス業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								